

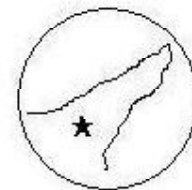
# The Great Scene of Shiretoko

発行：網走南部森林管理署 ウトロ森林事務所

森林官・グリーンサポートスタッフ（GSS）

## 羅臼岳（岩尾別ルート）

（標準コースタイムで頂上往復9時間くらいかかります）



～3つのお願い～

☆登山道にはトイレがありません。携帯トイレを持参してください。

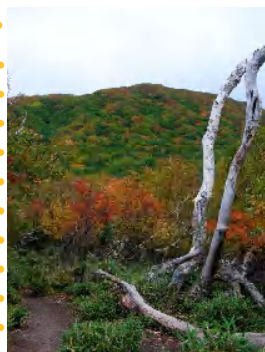
☆植物を守るため、登山道以外の場所を歩かないでください。

☆登山道や植生の破壊を防ぐため、登山用ストックのゴムキャップをつけて下さい。

# 秋の登山道3選

紅葉シーズンを迎えた羅臼岳では、秋の景色を楽しむことができます。日々の巡視で「これはオススメ！」と感じる登山道風景を3つ選んでみました。どれも登山口から片道2時間以内のところですので、羅臼岳に登られる方はぜひ見てきてください。

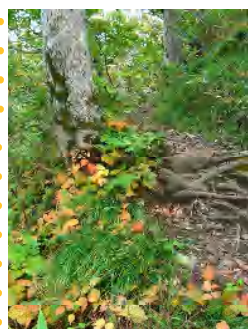
## その1：極楽平



近くの木々と、遠くに見える斜面のどちらも見事な紅葉です。白いカバの木が紅葉を際立たせてくれます。

## その2：弥三吉水付近

頭上をふと見上げると、赤く色づいたもみじの枝が張りだしています。視界が明るくなってまるで天然のランプのようです。



その3：オホーツク展望上足元にも紅葉が！ツタウルシの葉が赤や黄色に色づいています（ツタウルシにかぶれる恐れがあるので手は触れないでくださいね）。

お出かけの際は、温かい服装の準備をお忘れなく！

# 土嚢の修繕をしています

私たちが山に登ることで実は少しずつ登山道（とその周りの自然）に負担をかけてしまっていることをご存じでしょうか？羅臼岳登山道でも、登山道を少し踏み出して歩くことで広がってしまった登山道、踏まれて皮がはげてしまった木の根などが見られます。

登山道整備は、この登山が自然環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために行われています。整備の代表的な手法は、土嚢（どのう）という丈夫な袋に土を詰めてブロック状にしたものを使って、踏み固めから登山道や木の根を守るものです。

GSSは、右の写真のように古くなり破れた土嚢袋を新しくする作業を進めています。



登山シーズンが落ち着いた現在は、作業によって登山客の方の通行を妨げる心配がなく、登山道整備には最適の期間です。

修繕作業によって右の写真のようにしっかりした土嚢によみがえりました。



登山客のみなさまには、登山道の外に足を踏み出さない、ストックを刺さないなど自然にやさしい山歩き（ローインパクト登山）にご協力をお願いします。